

染織家・佐伯和子は、“染める”+“織る”に加え、“巻く”、“縫う”という行為を足し、常に色と質感にこだわりながら、自身のテキスタイルの可能性を広げて来ました。1980年代の東洋紡本社に始まり、虎ノ門三井ビル、台湾の新莊副都心合同庁舎、ヒルトン東京ベイなど、国内外のホテルや病院を含め、手掛けたタピストリーはゆうに150件を超えます。2000年代に入り、平面から立体へと制作スタイルを移行した先に誕生したのが、2012年に発表したインスタレーション《糸の葉》。

有機的な美を持つ《糸の葉》シリーズは、佐伯が公共の場にふさわしいイメージを課して来た、これまでのタピストリーとは性質が異なります。観る側に意図を感じさせることなく、ただ自然に生を受けたかのように空間を静かに支配します。

佐伯は、独自の技法でチュールの布の上に糸を縫いこみ、一枚一枚表情の違う糸の葉を生み出しました。今回、《糸の葉…落水》(2016)に用いられた糸の葉は五千枚…。《糸の葉…BONBORI》(2016)、《糸の葉…切通し》(2016)など、本展に出品される《糸の葉》シリーズ全点を合わせると一万五千枚を要します。

《糸の葉》の名の由来は、言の葉…。ふと気づいた自然の美しさに眼を奪われるように、《糸の葉》が支配する空間に迷い込み、見たことのない景色に出逢ってほしい。そしてあなただけに聞こえる、糸の葉が語る言葉を聞き取っていただけることを願っています。

一万五千枚の糸の葉が語りかける



Photo by Takayuki Osumi

佐伯和子 Kazuko SAEKI

染織家。1973年に武蔵野美術大学工芸工業デザイン科卒業後、1975年にアトリエを設立。1981年、1982年、新制作展新作家賞受賞。1981年、1986年、日本クラフト展優秀賞受賞。2013年、清州国際工芸ビエンナーレにおいてベストアーティスト賞受賞。現在、新制作協会所属。

展示室内

3 コンテンポラリーダンス

▶6月4日(土)

出演:香取直登 [コンドルズ]

▶6月11日(土)

出演:入手杏奈 [まことクラブ/21世紀ゲバゲバ舞踊団]

▶6月25日(土)

出演:デュオ(入手杏奈&香取直登)+コントラバス(藤野俊雄)

衣装制作:田村香織 [HAREGI]

▶時間:各回 20:00~20:30

※開場は19:50より

▶定員:各回 40名(申込先着順)

4 能楽

▶7月16日(土) 出演:青木健一

[シテ親世流能楽師]

演目:安達原・船弁慶・土蜘蛛・養老

※《糸の葉》をテーマに、各内容の一部を抜粋した創作演目となります

▶時間:20:00~20:40 ※開場は19:50より

▶定員:40名(申込先着順)

※当日の午後に公開リハーサルもあります(申込不要)

★2,3,4のお申込は、お電話(0422-22-0385)または美術館窓口へ

3は5月20日(金)10:00より、2,4は、6月4日(土)10:00より受付開始。いずれも定員になり次第締切



武蔵野市立吉祥寺美術館

〒180-0004

東京都武蔵野市吉祥寺本町1-8-16 コピス吉祥寺A館7階

☎ 0422-22-0385

🌐 http://www.musashino-culture.or.jp/a_museum/

🚶 JR中央線、京王井の頭線 吉祥寺駅北口より徒歩約3分

※美術館専用の駐車場はありません

Events

関連イベント

武蔵野市立
吉祥寺美術館
音楽室内

1 ワークショップ 「佐伯和子と作る、 あなたの《糸の葉》」

あなたが作る布(チュール)が、作家・佐伯和子の手を経て《糸の葉》となります

<写真参照>

※作った布(40cm×55cm)の1/2は持ち帰れます。残りの1/2は、会期中、当館のロビーに作品《糸の葉…ゆりまゐる》として展示されます

▶2016年6月12日(日)

赤い《糸の葉》

▶2016年6月26日(日)

青い《糸の葉》

各回13:00~16:00

定員:各回10人

対象:小学生以上

(ただし、小学生の方は必ず

保護者同伴)※ミシンを使用します

参加費:800円

『ワークショップ申込方法』

5月31日(火)<必着>までに、はがき・FAX・メールのいずれかに「①ワークショップ希望日 ②住所 ③氏名 ④電話番号 ⑤年齢 ⑥メールアドレス」を明記の上、武蔵野市立吉祥寺美術館まで。美術館窓口での申込も可。応募者多数の場合は抽選とし、結果は全員に郵送

2 講演会

「佐伯和子が語る、わたしの《糸の葉》」

《糸の葉》の制作過程などを含め、長年手掛けてきた作品とその手法に関する映像を交えたレクチャー

▶2016年7月2日(土) 14:00~15:30

定員:80名(申込先着順)

※詳細、最新情報は美術館HPをご確認ください

※ワークショップ以外は、すべて、イベント当日の美術館入館券が必要です(3,4の開場は美術館閉館後となりますが、入館券は閉館後ご購入いただけます)

問合せ・申込

Tel:0422-22-0385 Fax:0422-22-0386

Mail(ワークショップ申込専用) museum-ws@musashino-culture.or.jp